

第二期 新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会 第五回（平成 24 年 5 月 15 日） 傍聴者意見

エコプラザの広場の活用等、具体的な検討は今後の問題。委員ひとりひとりの頭の中の整理ができているのでしょうか。議論が行ったり来たりで、本来の課題（もっと大切だと思われる）の時間が少なくなるのではと心配です。要求水準書（案）は、委員の皆さんが目を通されているはずですよ。（31 ページ～37 ページ）

スポーツ施設・関連施設（クラブハウス）をどう整理するか今のうちにはっきりしておかないと、あとからスポーツ団体より陳情という名の強行策（現クリーンセンターは陳情という名の多数決で少数の周辺住民の意見や要望は押しやられた）が出かねないと思います。・・・

コミュニティセンターについても、すり合わせをしておかないと周辺の人たちの期待を裏切ることにならないでしょうか・・・

総合体育館への電気（力）と蒸気利用について、ガスコジェネを使用する時期は体育館・プール（温水）の使用料を平常より上げるという 2 段階料金とするべきではないか。スポーツ関係施設利用者にも、クリーンセンターへの関心を持ってもらう（啓発の一環として）こともポイント。

新クリーンセンターの運営・管理を監視する運営協議会をどうするのか（都営むさしのアパート自治体など、運協に加わりたいと表現しているが・・・）も早めに検討する必要があるはしないか。